

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、  
平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

5月28日、普天間飛行場移設先として、キャンプシュワブの「辺野古崎地区及び隣接する水域」と日米共同声明を発表し、同日夜臨時閣議で政府は閣議決定した。

米軍普天間飛行場移設に関する日米共同声明のポイントは次の通り。

- 一、普天間飛行場の代替施設の滑走路は1800メートルとし、名護市のキャンプ・シュワブ辺野古崎地区とこれに隣接する水域に設置。
- 一、代替施設の位置と工法の検討は8月末までに完了。
- 一、現行計画の環境影響評価の手続きを著しく遅らせない。
- 一、鹿児島県・徳之島を含め、海兵隊などが在沖縄米軍の県外への一部訓練移転拡充。グアムなど国外移転も検討。
- 一、外務、防衛担当閣僚による次回の日米安全保障協議委員会までに移設計画を確認。
- 一、沖縄本島東にある米軍訓練水域の一部を返還。

(沖縄タイムス号外より)

**わたしたちはこの声明、閣議決定に強く抗議します。**



沖縄基地問題は、決して沖縄だけの問題ではありません。鳩山首相は少なくとも県外と言っていた言葉をかなぐり捨て、沖縄の民意よりも日米合意を優先させ、辺野古に新基地を作る方針を発表しました。こんなことは決して許されません。全国からも声をあげていきましょう。

(4月18日、大阪梅田駅陸橋で「沖縄の民意に応えてください」署名の街頭署名活動)

目次	
頁1	表紙
頁2～4	4/18「ウチナーンチュ」とともに反基地を語る
頁5～8	4/25沖縄県民大会報告
頁8～12	5/14～16沖縄フィールドワーク＆「人間の鎖」に参加して、参加者感想
頁13～15	シリーズ：在特会の京都朝鮮第一初級学校襲撃を考える
頁16	今後の予定 / 4コマまんが / 編集後記

